

白ネギの新品種「羽緑一本太」の特性

1 普及に移す技術の内容

白ネギは2年生の作物で冬を越して春になると花をつける（抽苔）。このため、3～6月に収穫する一本ネギは、晩抽性の「長悦」が用いられているが、分げつの発生、首の締まりが悪いなど、しばしば品質が問題になる。近年、晩抽性のF1品種が育成されてきており、その一つにトーホク種苗が育成した「羽緑一本太」（以下、「羽緑」）がある。本品種は、「TS-40」という呼び名で2年ほど前から弓浜地区で試作され高い評価を得ている。このほど品種名も正式に決まり、今後の普及が期待される。「鳥取白ネギの体質を強化する低コスト・高品質・安定多収技術の開発」（単県 平成13～15年度）において試験実施し、本品種の特性および適作型について知見を得た。

1) 特性および適作型

晩抽性が優れる F1 品種であり、春ネギの3～4月収穫、夏ネギの5月下旬～7月上旬収穫に適している（図1）。

草姿は立性、葉色は濃緑、葉長はやや長めである。

分げつの発生は少なく、首の締まり、株揃いが良好であり、収量性が高い。

さび病、黒斑病の発生が少ない傾向がみられる。

2) 春ネギの3～4月収穫

作型は、5月上旬播種 - 6月下旬定植と6月下旬播種 - 8月下旬定植の2つがある。

雪による葉折れが少なく、分げつ率が低く多収である。

抽苔発生は、「長悦」に比べ、5～7日遅いと考えられる。

収穫期間が長くなると首部が長くなる傾向があるので、計画的な最終土寄せをする。

3) 夏ネギの5月下旬～7月上旬収穫

作型は、10月上旬播種 - 11月下旬定植でトンネル被覆と無被覆の2つがある。

冬期間の生育は若干劣るが、抽苔率は低く多収である。

6月中旬以降でも首の締まりが良好で、分げつは殆ど認められない。

極端な早播きは抽苔が多発する恐れがあるので、10月1～5日頃の播種が良いと思われる。

5月下旬収穫で葉折れしやすいので、窒素過多に注意する。

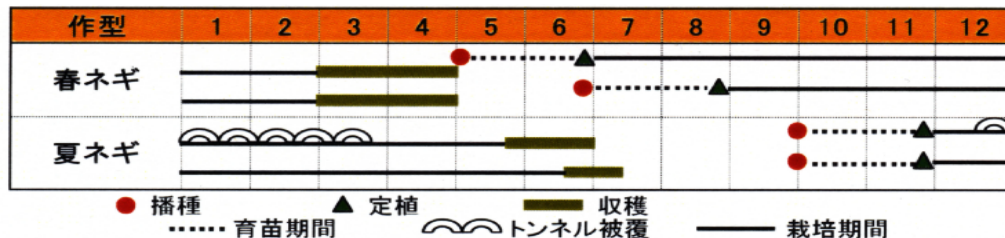


図1 「羽緑一本太」の適作型

2 試験成績の概要

1) 春ネギの3～4月収穫

2003年7月4日に448穴セルトレイに3粒播種し、8月20日に定植、2004年3月30

日に収穫調査した。「羽緑」は、分げつ発生が少なく、収量 568.8kg/a と多収となった（表1）。抽苔発生は、「長悦」に比べ、5～7日遅かった（図2）。

表1 春ネギの4月どり栽培（2004）

品 種	収量 (kg/a)	調製重 (g/本)	分げつ率 (%)
羽 緑	568.8	147.0	1.5
長 悦	516.8	105.1	46.5
春 扇	631.3	154.0	1.3

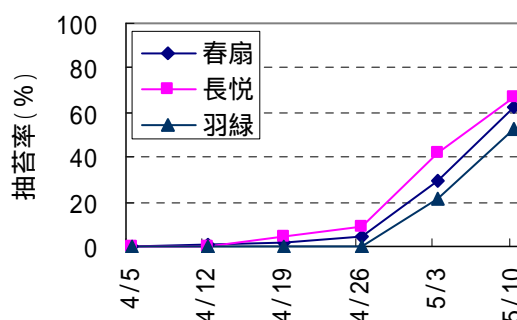


図2 抽苔率の推移（2004）

表2 収穫時における生育調査（2004）

品 種	草丈(cm)	葉鞘長(cm)	葉長(cm)	葉幅(cm)	葉鞘径(mm)	葉数(枚)	首の締まり
羽 緑	98.3	37.6	59.6	3.4	21.7	4.4	3.6
長 悦	95.2	36.3	55.4	3.4	23.3	4.8	2.6
春 扇	87.1	37.6	49.6	4.4	23.6	4.8	4.2

注)首の締まりは、悪い1～5良いで評価した。

2) 夏ネギの5月下旬～7月上旬収穫

2001年10月3日にチェーンポットに2.5粒播種し、11月28日に定植した。トンネル栽培は、12月18日～翌年3月28日までトンネル被覆し、5月29日に収穫調査した。無トンネル栽培は、7月1日に収穫調査した。2002年次は、暖冬の影響で抽苔株が多発したが、「羽緑」は、抽苔率が低く、多収であった。冬期間の生育が若干劣る傾向が認められた（表3、表4）。

表3 6月どりトンネル栽培（2002）

品 種	生育調査 (3/28)		収穫調査 (5/29)		
	草丈(cm)	生重(g)	収量(kg/a)	調製重(g/本)	抽苔率(%)
羽 緑	56.9	32.9	476.1	111.4	7.4
長 悦	57.0	36.6	345.4	114.2	17.2
春 扇	61.6	39.9	481.9	117.5	14.9

表4 7月どり無トンネル栽培（2002）

品 種	生育調査 (3/28)		収穫調査 (7/1)		
	草丈(cm)	生重(g)	収量(kg/a)	調製重(g/本)	抽苔率(%)
羽 緑	36.3	10.5	629.2	133.9	0.6
長 悦	43.1	12.0	523.1	110.7	27.0
春 扇	39.7	11.3	578.1	132.9	8.5

3 普及の対象及び注意事項

県下の平坦部白ネギ栽培地域
本県では、「夏みどり」として流通する。

4 参考資料または文献名

鳥取県園芸試験場試験成績書（野菜・花き）平成14、15年度

5 試験担当者

弓浜砂丘地分場 研究員 白岩裕隆
分場長 鹿島美彦